

入間市公共施設マネジメント事業計画  
学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）報告書

令和3（2021）年4月

入間市総務部公共施設マネジメント推進課

## 1 はじめに

入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（以下「検討会議」という。）は、「入間市公共施設マネジメント事業計画」（以下「事業計画」という。）による学校の統合を行うにあたり、当該計画が地域に与える影響及び課題について地域住民の意見を聴取することを目的に設置したものです。

宮寺・二本木地区においては、令和元(2019)年8月5日(月)に開催した第1回会議において委員16名に委嘱状を交付し、以降6回にわたり会議を開催してきました。

検討会議は、市が設定した課題と委員から提示いただいた課題の双方を合わせてテーマを設定し、地域の人口の動態、児童数の見込み、地理的な特性などについて委員と市で情報を共有した上で、宮寺・二本木地区の小学校の統合に向けた諸問題に関し、課題の抽出や対応の方向性についての意見交換を行っております。

現在、新たな学校用地を選定中であることから、今後、新たな学校の場所を選定し、課題や対応の方向性などについて具体的な意見交換ができる状況となった時に会議を再開する予定です。

このため、委員の任期を迎えたこの時点で、これまでの検討会議の経過を確認し、小学校の統合に向けた課題や配慮が求められる事項について整理した内容を取りまとめました。

検討会議委員の氏名及び選出区分（任期：令和元年8月5日(月)～令和3年3月31日(水)）

岡崎 幸子	公募
川島 世利雄	小学校のPTA
後藤 賢治	狭山地方交通安全協会
近藤 勝美（会長）	小学校のPTA
中村 隆	入間市青少年健全育成推進会
中村 智洋	保育所又は幼稚園等の保護者
野崎 皓布	入間市民生委員・児童委員協議会
服部 龍児	保育所又は幼稚園等の保護者
羽石 未樹	保育所又は幼稚園等の保護者
馬場 準	公募
濱邊 一幸	狭山地方交通安全協会
古谷 圭	区又は自治会
水村 由高	入間市民生委員・児童委員協議会
村杉 美和	小学校のPTA
山口 達也（副会長）	小学校のPTA
吉川 清	区又は自治会

## 2 会議の経過

宮寺・二本木地区の検討会議は、令和元(2019)年8月5日(月)から令和3年3月23日(火)までの期間に会議を6回開催しました。

### 第1回会議

日時	会場	出席委員	傍聴者数
令和元(2019)年8月5日(月) 19:00～21:00	宮寺公民館 1階 大会議室	15 / 16名	7名

○委嘱状交付

○検討会議の設置目的

検討会議の目的、設置期間などについて確認しました。

○会長・副会長選出

[議事の概要]

(1)公共施設マネジメント事業計画の概要について

公共施設マネジメント事業計画を策定した経緯、計画の概要について質疑を行いました。

(2)検討会議のスケジュール、検討の進め方について

検討会議のスケジュール、検討課題の設定、会議の進行の方法、意見の取り扱いなどを確認しました。

### 第2回会議

日時	会場	出席委員	傍聴者数
令和元(2019)年9月25日(水) 19:00～21:15	二本木公民館 1階 大会議室	12 / 16名	8名

[議事の概要]

(1)各種データの確認

地区の人口の動向、児童数の推移、小学校の概要などのデータを基に質疑を行い、小学校の状況に関する情報を共有しました。

[主な意見]

- ・学校は地域の核である。学校のことと地域のことを合わせて考えていきたい。
- ・小学校の統廃合を考える前に人口を増加させる対策を考えることも必要である。
- ・小学校の建替えが必要な時期を迎えていることは理解するが、地域の将来を考えていきたいという切実な思いがあるので、学校のことだけでなく地域のまちづくりに関することも説明を受けたい。
- ・学校を統合するのであれば、学校を適正な規模にするという視点のみでなく、新しい取り組みを始めることや地域に支えられた素晴らしい学校であるということなど、子どもたちも保護者も統合して良かったと思える学校となることが望ましい。
- ・通学距離が遠くなったが、新しい学校にして良かったと思えるようにしてほしい。
- ・小学校を中間地点に造るとしても、圏央道付近から通学している狭山小の児童は相当の通学距離になる。スクールバスを導入した場合について詳しく検討したい。

(2)公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について

委員が提示した検討課題に対する意見を紹介し、意見交換のテーマ設定に反映していくことを説明しました。

### 第3回会議

日時	会場	出席委員	傍聴者数
令和元(2019)年11月6日(水) 19:00～21:00	宮寺公民館 1階 大会議室	11 / 16名	7名

#### 〔議事の概要〕

##### (1)宮寺・二本木地区学校統合地区検討会議について

検討課題に対する委員の意見を整理し、意見交換のテーマとして設定しました。

##### (2)「まちづくり」に関する事項について

都市整備、道路、農業振興地域等及び狭山台土地区画整理事業地内の状況などについて質疑を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・小学校が建てられる広い土地は市街化区域の中にはない。今の学校の土地を売却し、市街化調整区域の土地を安く購入して新しい学校を建てるのが良い方法ではないか。
- ・一番の問題点は、通学路の設定で国道16号を横断することかと思う。歩道橋という考えもあるが、雨や雪が降ると滑り渡ることが大変となる場合もある。
- ・統合場所はどこでも良いが、統合による課題にはしっかりと対処しなければならない。
- ・近年、自然災害が非常に多い。小学校は避難場所でもあるため、防災の観点も踏まえて廃止した学校跡地の活用や道路のことを考えてほしい。

### 第4回会議

日時	会場	出席委員	傍聴者数
令和2(2020)年1月15日(水) 19:00～21:00	二本木公民館 1階 大会議室	12 / 16名	7名

#### 〔議事の概要〕

##### (1)「統合の理由」に関することについて

学校の整備にかかる事業費や、運営にかかる経費について質疑を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・新たな学校について、防災対策として校庭を嵩上げすれば済むということではない。通学路など周辺のことも考えていく必要がある。
- ・学校跡地の活用に対する関心が高い。方針や方向性があれば示してほしい。

##### (2)「通学上の課題」に関することについて

地区内の児童の居住の状況や交通危険箇所、通学手段や通学路の設定の過程などについて確認しました。

#### 〔主な意見〕

- ・歩道などの安全対策のほか、公共交通機関を使うことも含めて通学の安全を確保する手段の検討が必要である。
- ・冬至の時期は16時半頃には真っ暗になってしまうので、街灯をつけることも考えたい。
- ・スクールガードリーダーと一緒に下校することなども検討したい。

##### (3)「新たな学校のイメージ」に関することについて

将来の学校施設について、主にハード面で想定する内容について意見交換を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・ICTの活用について積極的な検討を求める。トイレの快適性向上も大切である。
- ・現在の学校の特質などを踏まえてイメージが示されれば、統合に向けた議論が深まる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるため、3月12日(木)、5月13日(水)、7月2日(木)に開催を予定していた会議を延期しました。

この間に、「小学校を統合すること」についての意見書を依頼し、11名の委員から意見書をいただきました。

## 第5回会議

日時	会場	出席委員	傍聴者数
令和2(2020)年8月19日(水) 19:00～20:35	二本木公民館 1階 大会議室	10/16名	10名

### 〔議事の概要〕

#### (1) 「新たな学校のイメージ」に関することについて

新しい学習指導要領と近年に整備した小学校の他市事例を紹介し質疑を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・狭山小学校、宮寺小学校の両校とも地域と密接なつながりがある。今後、統合された新しい小学校でもこうした配慮を求めたい。
- ・新しい学校の整備に向けて地域の声を反映させる機会を設けてほしい。
- ・統合して児童が増えることにより、児童1人当たりの指導が手薄になることがないようにしてほしい。

#### (2) 「統合の理由」に関することについて

委員の発議により、小学校の統合についての意見交換を深めていくため、これまでの検討会議の進行状況を整理し、小学校の統合に対する各委員の意見を確認しました。

#### 〔主な意見〕

- ・子どもの登下校が心配である。国道16号を横断する際に横断歩道を渡らせるのは保護者としてあり得ないと考えている。夏は通学で疲れ切ってしまう児童がおり、冬は暗くなるのが早い。中間地点に統合することについて変えてほしいということではないが、登下校を安全にできるかということが一番の課題であると考えます。
- ・統合することに反対はないが、低学年が通学する上で大変な問題を抱えているのではないかと思う。狭山小学校、宮寺小学校とも学校独自の教育活動や校風がある。通学の問題と合わせて子どもの交流も十分に配慮したい。
- ・人材育成という教育機関に対する投資を一番に考える必要がある。ハコモノのコストだけの問題ではない。
- ・場所のことで妥協せざるを得ないのであれば、中身の充実が大切である。現在のことでなく、様々な変化に柔軟に対応できるような学校整備を考えていければよいと思う。
- ・学校の統合は教育環境の充実が第一である。学校の中だけでなく地域の方に開放される部分についても検討したい。両校にもそれぞれ歴史があり、地域に宝物がたくさんある。
- ・以前は宮寺小学校も狭山小学校もそれぞれが存続し続ければ良いと思っていたが、委員となって財政や少子化の背景を知り、統合は致し方ない状況であると考えられるようになった。統合するからには、児童のために良い学校を作っていきたいと思う。統合に向けて、一番の問題は通学のことである。国道16号を渡る、今までより通学時間が長くなる、などの課題に対しどこまでリスクを減らせるか、一番弱い人の立場になって考えていくことが大切だと思う。

- ・統合してある程度の規模の学校になることで教育や施設の充実ができるのではないかと考える。問題点は、通学のことである。スクールバスが良いと思う反面、ある程度運動したほうが児童の成長にとって良いという研究もあり、歩くことも良いのかなと考える面もある。
- ・この会議が始まった際は、なぜ統合しなければならないのかと思っていた。小さい規模の学校の良い面について理解しているが、子どもが様々な機会や大勢の他者と触れ合うことは大事なのではないかと思う。財政や少子化の問題で統合しなければいけないのであれば、最先端の事例になるような学校にして、地域の方が支えながら良い学校を作って子どもたちにプレゼントを残したほうが良いと考える。今の少子化、財政問題を地域に新しい学校を作るチャンスとして捉えたほうが結果的に子どもたちのためになると思う。
- ・学校の統合に向けて、どのようなことができるのかを考えていくことが良いと思う。
- ・せっかく新しい学校を作るのであれば、歩道などの安全対策について要望を出していくことが必要だと考える。
- ・これまでの意見交換で、統合について積極的に進めるべきという意見とやむを得ないという意見があったが、統合に向けて進んでいくというのが全体的な意見であったと思う。

## 第6回会議

日 時	会 場	出席委員	傍聴者数
令和3(2021)年3月23日(火) 19:00～20:15	宮寺公民館 1階 大会議室	11 / 16名	5名

### 〔議事の概要〕

#### (1)「通学上の課題」に関することについて

各委員が提出した交通危険箇所に関する情報を整理し、共有しました。

#### 〔主な意見〕

- ・通学路の危険箇所のデータについては、交通防犯課など市役所の他の部署と情報を共有するなど、市の中で広く役立ててほしい。

#### (2)小学校の統合に向けた取組のスケジュールについて

小学校の統合に向けた取組のスケジュールのイメージと今後の取組内容を確認しました。

#### 〔主な意見〕

- ・小学校の統合に向けた取り組みが進められていることが市民に伝わっていない。
- ・小学校の統合に向けたスケジュールなどを市民に伝える工夫が足りているのか。市はホームページなどで公開しているというが、それだけでは住民が理解するのはかなりの努力が必要であると思う。これではいくら計画を立ててスケジュールを示しても、地域の皆さんが納得するような理解は得られないのではないか。
- ・以前に、市の計画についてPTAの中で誤った情報が伝わり、修正するが非常に大変だった。このようになってしまった原因は、住民が自分から正しい情報を取りに行くことが困難だからである。市は住民に対し情報を無理やり押し付けるぐらいの勢いで周知に取り組んだ方が良い。
- ・この地域は、かつて町村合併の影響などにより、同じ地域の子どもでありながら違う学校に通学するという事態が起きてしまった。今回の学校の統合に向けた取り組みは、将来に向けて禍根を残すことがないように丁寧に進めることが大切である。

### 3 統合に向けた課題・配慮が求められる事項

検討会議においては、「宮寺・二本木地区の地域性や今後の見通しなどを踏まえると、小学校の統合に向けた取り組みを進めていくことが求められる。」ということを経委員の共通認識とした上で、事業計画が地域に及ぼす影響や課題について意見交換を行いました。

新たな学校用地を選定中であることから、具体的な意見交換に至っていない点がありますが、これまでに各委員からいただいた様々な意見を、統合に向けた課題や配慮が求められる事項として以下に整理します。

#### (1) 通学に関することについて

学校の統合に向けては、児童の安全な登下校が一番の課題である。通学距離が長くなることや国道16号を渡ることについては、リスクを減らすために幅広い検討が必要である。また、交通事故防止と合わせ、防犯の視点も含めた幅広い安全対策が求められる。

〔課題〕

- ・ハード、ソフトの両面からの国道16号往来の安全対策
- ・地区内の危険箇所への対応
- ・スクールバスなども含めた通学手段の検討
- ・街灯の設置等の防犯対策

※交通・防犯上の危険箇所などについて委員から指摘があった場所と内容は、**別紙1**「通学路に関する課題（各委員の意見一覧）」及び**別紙2**「通学路に関する課題（地図）」の通り。

#### (2) 新しい学校の整備について

学校施設の整備については、ICTの活用など先進的な学習環境と合わせ、快適なトイレなど生活環境についても十分な配慮が必要である。

学校の運営については、宮寺小学校、狭山小学校の両校とも地域が学校と密接につながり子ども達を育てている。新しい学校においてもこうした活動を継続していきたい。また、保護者が学校行事に参加しやすくなることや、地域と学校の連携を行いやすくするため、新しい学校整備に向けて地域の声を聴く機会の設定を求めたい。

〔課題〕

- ・先進的かつ快適な環境整備の検討
- ・地域と連携した学校運営の検討
- ・施設整備に対する地域の声の反映

#### (3) 防災対策・地域や人へのケアについて

小学校は避難場所・避難所であるので、新しい学校は災害時の安全確保について十分な対策が求められる。また、学校の施設のことだけでなく、周辺の道路や跡地の活用について防災の観点も踏まえた検討が必要である。

〔課題〕

- ・自然災害への対応を十分に配慮した施設の整備
- ・防災対策を考慮した周辺環境の整備や跡地活用の検討

#### (4) その他

学校は地域の核であり、まちづくりの上で重要な施設である。学校の統合が将来に禍根を残すことのないよう進める必要がある。

〔課題〕

- ・地域の歴史的な背景も踏まえた合理的かつ丁寧な計画の推進

## 4 今後の進め方

### (1) 学校統合地区検討会議の再開

新たな学校の整備場所が提示できる状況になった段階で検討会議を再開する予定です。

再開後は、通学の安全確保や学校の立地に起因する諸問題などを中心に、課題の整理や対応の方向性について意見交換を行うことを想定しています。

### (2) (仮称) 学校統合委員会の設置

検討会議の成果を引き継ぎ、学校の統合に向けて具体的な内容を検討するため、教職員や地域の組織から選出された委員で構成する(仮称)学校統合委員会を設置する予定です。

(仮称)学校統合委員会は、統合後の新校の名称、学校の運営、学校の施設、通学に関することなどの重要事項や、学校用品などの検討及びとりまとめを行う予定です。今回の学校統合地区検討会議を通して整理した課題などについては、この(仮称)学校統合委員会における検討事項として位置付け、実際の学校整備に向けて協議していきます。

また、検討会議でいただいた様々な意見は、市の関連部署で共有し、今後の施策を検討する上で参考とさせていただきます。

※現段階で想定する宮寺・二本木地区の小学校の統合と再整備に向けた取り組みのスケジュールは、**別紙3**「宮寺小学校・狭山小学校統合に向けたスケジュール(イメージ)」の通り。